

Last Piece

～コミュニケーションの答え～

Vol. 3 : 真のコミュニケーター

真のコミュニケーター(マスター)

- ▶ 我々が目指していくべきマスターの姿とは
 - 一時的な悦を与えるようなテクニシャンではなく
 - 潜在的な孤独感を緩和し、相手の心を自ら開かせ前に進ませてあげる

真の提供者

- ▶ 真の提供者になった時、人はあなたを放っておかない(おけない)
- ▶ ここを目指すと決めることができたなら、もうテクニックは要らない

居場所

- ▶ どのような時に人は孤独感を覚えるのか？
- ▶ 居場所がないと感じる時
- ▶ 人間は本質的に“社会的”な生き物
- ▶ 故に自分の居場所(人と人との繋がり)を確保することは死活問題

「居場所がない」と感じる原因

- 理解されない
- 共感されない
- 頼ってくれない
- 責を任されない
- 信じてくれない
- 心を開けない
- 安心できない
- 安全だと感じられない
- 発散できない
- 発揮できない
- 存在意義が感じられない
- 必要とされない
- 誘われない
- 許してくれない
- 何をして良いかわからない
- 疎外感がある

マスターの仕事

- ▶ “心の居場所”を提供しそれを“互いに共有”すること
- ▶ 心の居場所：
 - 休息の場所(落ち着ける場所、安全だと感じる場所)
 - 戦える場所(自分を発揮できる場所)、
を、普通の言語や非言語のコミュニケーションで作ってあげる
- ▶ 物理的な居場所を作ってあげるのもよいが、
 - 「あなたの存在そのものが“居場所”」
であることが基本
- ▶ これが相手にとっての“最高の価値”となる

▶ また

– 提供した居場所を“共有”する

ことによって、それが

– 最高の価値交換

となる

真のコミュニティ

- ▶ 居場所を共有できる人が増えた時、そこに“コミュニティ”ができる
- ▶ つまり、あなたはコミュニケーションマスターになると同時に
 - コミュニティリーダーになっていくということ
- ▶ コミュニティとは、物理的な場所があってそこに人が集まっている状態ではなく、リーダーがいて、リーダーを媒介として心で繋がっている人が複数いる状態をいう

リーダーになんて…

- ▶ 「自分がリーダーになんて…」…なんて思っはいけない
- ▶ あなたは誰かリーダーのもとでコミュニティメンバー(フォロワー)として生活・活動しているかもしれないが、同時に、誰かのためにあるコミュニティのリーダーになっはいかななくてはならない
- ▶ いや、本当はすでにその役目を背負っているにもかかわらず、その自覚がないがために人間関係がうまく行っていないということが起こっていたりする
- ▶ 友人の、恋人の、家族の、子供の、パートナーの、後輩の、部下の、リーダーになっはいかななくてはならない

「人は生まれながらにして孤独」

- ▶ 「だから『個』としての道をあゆむ覚悟を決めよう」
- ▶ …という話ではない
- ▶ 「関係性」の中にこそ孤独と正しく向き合うための“答え”がある
- ▶ その答えを本講座で紐解いていく

マスターキー

1. 「人は生まれながらに孤独な生き物である」という前提に立ち、
 2. (相手本意を尊重しつつ)「自分本意の上の相手本位」、
 3. そして「真の提供」でもって潜在的な孤独感にアプローチし、相手の心を自ら開かせる
- ▶ これがコミュニケーションの答えであり、誰をも満たし、誰の心をも開かせることを可能とするマスターキーである
 - ▶ こちらから無理矢理こじ開けるのではなく、相手が自ら心を開きたくなるコミュニケーターこそ、「マスター」と呼ぶに相応しい

ということで...

MASTER OF COMMUNICATION

コミュニケーションの“マスターキー”

近日公開！